

板林恵さんからベビーマッサージの指導を受ける
母親たち＝板林さん提供



子育て環境整備急いで

板林恵さんは震災後に次男を産み、4人家族となった。仮設住宅の暮らしが今も続く。子どもたちは6歳、3歳と成長し、入居当時より手狭に感じる。

震災後、子育て環境が悪くなった。「おむつを替える場が減りました。以前はショッピングセンターでおむつを替えて授乳もできた。震災後は車の中になりました」

外で散歩しようにも大きなダンプの往来が激しく、怖いのと、ダンプが通るたびに粉じんが舞い上がり、空気も悪い。「陸前高田はまち全体が工事現場みたいですよ。お母さんが子どもを抱っこして歩いているのを見かけなくなりました」

遊ばせる場所もない。「行政は『まちづくりの途中でいずれつくりまします』という感じですが、子どもの成長はあつという間。子どもの事は少しでも早くしてほしい」

板林さんは今、助産師の伊藤怜子さんの子育て支援団体のスタッフを務めている。ベビーマッサージの資格を取り、ママサロンでお母さんたちに教えている。「我が子に触れると、赤ちゃんにとって気持ちがいいし、ママもリラックスできるんです」

（角津栄二）この項
終わり